

# 豫科練

100



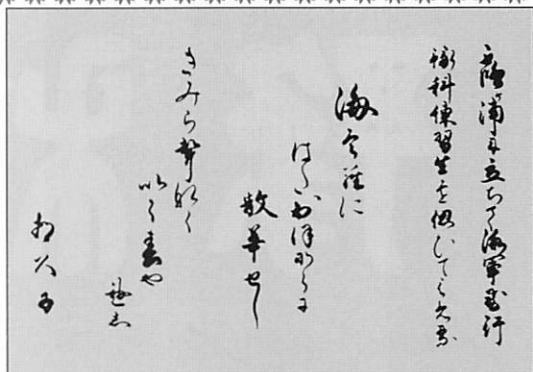
No.471 令和4年

7・8月号

- 連載《シリーズ海軍及び予科練各種記念碑・慰霊碑》No.14… 2
- 連載《シリーズ海軍飛行予科練習生遺稿》…………… 3
- 名刺広告…………… 4
- 私の第五十五回予科練戦没者慰霊祭…………… 6
- 慰霊祭玉串奉納者ご芳名簿…………… 8
- 三四三空隊史⑬…………… 10
- さらば予科練⑤…………… 13
- 雄翔館見学者感想文…………… 17
- 予科練教官として②…………… 19
- 天国へのメッセージ…………… 22
- 海原会寄付者芳名簿…………… 23
- 事務局日誌…………… 23

益人  
財団法人

# 海原会



高松宮妃殿下御歌  
霞ヶ浦に立ちて海軍飛行  
予科練習生を偲びてよめる

海はらに  
はたおほそらに  
散華せし  
きみら声なく  
いく春やへし

この御歌は、高松宮喜久子妃殿下の御直筆で、有栖川流と申しあげ、妃殿下はその御宗家にあたられると承ります。

## 海軍及び予科練各種記念碑・慰霊碑 福岡航空隊の碑 No.14



福岡海軍航空隊は、昭和18年大量採用の予科練習生を、基礎教育を終った段階で専修別に飛練教程前に受け入れる必要に迫られ、昭和19年6月1日に予科練教育担当の練習航空隊として開隊した。〈司令小沢寛輔大佐・海兵34期〉

最初に入隊した期は、松山空で教育を受けた甲飛十三期の操縦専修予定者が開隊と同時に入隊、翌20年1月に予科練教程を卒業し、飛練教程に進み、一部は水中特攻兵器の要員として退隊していった。

次いで4月1日、甲飛制度最後の期となった甲飛十六期の一部が入隊した。しかし、間もなく予科練教育中止の処置がとられ、全軍本土決戦に備えての戦備が急がれることになり、甲飛十六期生はその要員として配備され、福岡空は終戦を前にした7月10日に一年一ヶ月という短い歴史に幕を閉じた。

福岡空に入隊した甲飛十六期出身者は、譬え教育期間は短くとも、ここで叩きこまれた海軍精神と同期生の強い絆で戦後の祖国再建に邁進してきた。その証として、碑を建立した。

# 海軍飛行豫科練習生

## 遺書 遺詠 遺稿 辞世

### 遺詠

神風特別攻撃隊第一大義隊  
二〇五空戦闘三二七飛行隊

海軍二等飛行兵曹

太田 静雄

二二歳  
広島県

第一期乙種(特) 飛行予科練習生

神居ます

大和の国を護る身は

今日は御楯と

空を征くらむ

昭和二十年四月一日、石垣島基地を〇六四五発進し、宮古島南方海域の敵機動部隊の沖縄上陸阻止に、零戦に#25を抱き攻撃突入する。

### 遺詠

神風特別攻撃隊第四神雷桜花隊  
七二二空攻撃七〇八飛行隊

海軍上等飛行兵曹

難波 博通

二二歳  
兵庫県

第十四期乙種飛行予科練習生

かぎりなき

愛のちぎりをふりすてて

今ぞ行く決戦の

おおぞらに

昭和二十年四月十四日、鹿屋基地一一三〇に、桜花を各機に搭載して発進し、徳之島東方海域の敵機動部隊に対し、一式陸攻七機編隊で攻撃をする。

# 暑中お見舞い申し上げます



公益財団法人

## 水交会

会長

赤星慶治

副会長

佐賀幾雄

理事長

杉本正彦

副理事長

河野克俊

専務理事

村川豊

事務局長

長谷川洋

公益財団法人

## 特攻隊戦没者慰霊顕彰会

会長 杉山 蕃

理事長 藤田 幸生

副理事長 岩崎 茂

専務理事 石井 光政

公益財団法人 海原会

理事長 菅野 寛也(一般)

会長 小林 和夫(乙19)

副理事長 酒井 省三(一般)

副理事長 安井 剛(一般)

顧問 池 太郎(一般)

顧問 六車 昌晃(一般)

理事 平野陽一郎(一般)  
(事務局長)

理事 保坂 俊雄(乙23)

理事 篠田 輝男(一般)

理事 山下 桂子(一般)

理事 湯原豊一郎(一般)  
(霞ヶ浦支部長)

理事 星指 隆(一般)

監事 豊岡 昭(甲16)

参与 行方 滋子(一般)  
(霞ヶ浦支部副支部長)

参与 脇田 四郎(甲13)

# 暑中お見舞い申し上げます

(公財)海原会・理事長  
零戦愛好会・会長

菅野 寛也

(公財)海原会・評議員  
三重空甲十二期会・代表幹事

久保山 賞一

(公財)海原会・評議員  
予科練二十四期会世話人代表

岩 館 芳 雄

予科練特飛十期会会長

佐 藤 建 次

(公財)海原会・監事  
土空甲飛十六期

豊 岡 昭

(公財)海原会・理事・広報担当  
予科練二十三期会・会長

保 坂 俊 雄 (23)

「人と自然が作る楽しい」

## 茨城県稲敷郡阿見町

東洋一と言われた霞ヶ浦航空隊に、若き雛鷺の声がかどまりました。

土浦海軍航空隊は、いま人口四万七千人の町の大きな歴史財産になっています。阿見町は、現在福祉、緑の保全、生涯学習などに力を入れ、住民参加の町づくりを、積極的に進めています。

穏やかな霞ヶ浦、町中にあふれる桜の花が、今も静かに鎮魂の意を捧げています。予科練の歴史を後世に奇与するため、阿見町は

「霞ヶ浦平和記念公園」を整備し、平和のシンボル「予科練平和記念館」を建設し、開館しました。

平成二十二年二月一日



回天一型実物大模型 全長14.75米 直径1.0米 時速30ノット 乗員1名

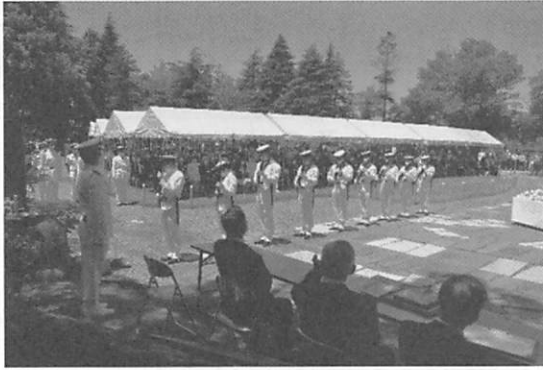
## 私の第五十五回

### 予科練戦没者慰霊祭

海原会

理事 平野陽一郎

令和四年五月二十九日(日)  
第五十五回予科練戦没者慰霊祭  
が開催されました。コロナの影響で三年ぶりの完全実施の慰霊祭です。気温三十度を超す夏日



を記録した雄翔園で約二百名のご遺族・同窓・ご来賓に出席いただき盛大に開催されました。

海原会の理事に就任して以来私にとって十一回目の慰霊祭の担任です。慰霊祭は私にとって稲作のようなものです。

準備は半年前から開始されます。開催日を決め武器学校と支援受けの可能性について、調整することから始まります。

「慰霊祭の田起こしです。」日取りが決まると、海上自衛隊下総基地・陸上自衛隊施設学校音楽隊・阿見町など協力各団体との調整が進みます。招待者の名簿を作り招待状を印刷し招待者の皆さんに郵送、やがて返信ハガキが送られてきます。偲ぶ集いの会場や参加者の宿泊ホテルや送迎バスの予約を行い、時を同じくして、慰霊祭進行担当の行方参与との調整が始まります。式典アドバイザーの太宰副会長(この記事を執筆中に、ご子息から父親が永眠したとの連絡を頂きました。太宰副会長のご冥福をお祈り申し上げます。)のご自宅を何度も訪問して式典進行要領が詰められます。そこで、ご遺族代表をどなたに

お願いするのか、ご挨拶をどなたにお願いするのかなど、式典の内容が決められて行きます。

一方行方参与は、司会進行表を更新していきます。十二月頃からは月一回のペースでアナウンサーの基本を含めて太宰副会長のご自宅でレッスンが行われます。

また、今回は節目の慰霊祭のため記念の慰霊演奏会を計画しました。海上自衛隊横須賀音楽隊に出演要請を行い、池顧問のお蔭で調整もスムーズに進み、出演が快諾されます。演奏会場の使用や演奏会当日の協力に関する阿見町への要請、あるいは照明音響機材担当の業者さんとの調整が進みます。演奏会のベースが確定します。

### 「慰霊祭の田植えです。」

慰霊祭及び演奏会のポスターやチラシの製作です。製作費用を低減するために、データは全て自作です。

送られてきた返信ハガキに基づき参加者名簿を作成します。途中で追加になったり、急遽欠席になったり、修正は慰霊祭当日の朝まで続きます。そしてその都度、座席表や受付名簿、名札等を修正していきます。

慰霊祭の前々日は準備作業です。武器学校OBやボランティアの皆さんが、集合し、武器学校が設営してくれた式典会場に祭壇を組み立てます。また、供物の買い出しや、受付用の備品や看板などを受付ごとに掌握し本番の受付業務に備えます。

一方、演奏会では、応募者多数(募者数は定員の3倍を超えた)のために抽選会を行い、幸運な当選者に入場整理券が返信されます。予備として保留していた座席を逐次開放していきませう。音響を担当する部外の業者が、機器類や看板を設置し音楽隊の受け入れが進められます。



「田んぼの管理です。」

五月二十七日、お昼過ぎ横須賀音楽隊が到着します。この日は、霞ヶ浦高等学校のブラスバンド部員に対する演奏指導です。池顧問と星指理事の両名が、音楽隊到着時からアテンドを開始し、自衛隊茨城地本の担当者と共に協力しながら演奏指導を進めていきます。

演奏会当日は、朝九時から音楽隊と音響・照明担当者そして総合同会の海原会行方参与との調整が行われます。



それが終わると、地元中学のブラスバンド部員に対するリハーサルが公開が行われます。初めて聞く生のバンド演奏に中学生たちの目が輝きます。



そして十三時半いよいよ開場です。受付には慰霊祭の招待者と幸運な阿見町民の皆さん三百名が押し寄せます。十四時から約二時間の慰霊祭記念演奏会が行われます。出席した皆さんからは、感動の声があちこちで上が



ります。そして音楽隊員からは、観客がとても暖かいと、絶賛の声。演じる方も見る方も一体となって作り上げた素晴らしい二時間でした。



二十九日(日)午前七時半、勤務員が集合します。事前の調整に基づき、勤務員が一斉に勤務場所へ散っていきます。九時行方参与の指示で、教導隊・施設学校音楽隊が合同で最終予行が行われます。午前十一時、慰霊式典の开幕式です。武器教導隊員の旗衛隊員により国旗が掲揚されます。



海上自衛隊下総教育航空群の隊員による儀仗・甲銃が実施され、理事長挨拶、来賓の挨拶と続きます。ご遺族代表丙飛第8

期小野田保雄海軍少尉の妹 君鳥操様からご挨拶をいただき、続いて遺書が朗読されます。定年のために今年で音楽隊長を退任される施設学校音楽隊長井上龍明様のトランペットによる奉納演奏「若鷺の歌」が流れます。



続いて一般招待者の献花が行われ、「また来年もここ雄翔園で合いましょう」を合言葉に家路を急ぎます。我々は後片付けを行い午後四時に全ての行事が終了し、勤務員も解散となりました。



多くの参列者が目頭を押さえます。十二時十分予定通り慰霊式典が終了し、半年前から始まった私の慰霊祭が幕を閉じます。

「慰霊祭の稲刈りです。」



### 第五十五回予科練戦没者慰霊祭 玉串料奉納者ご芳名簿

福島県福島市 藍原 幸榮様 金一万円  
 東京都世田谷区 明石 英次様 金五千元  
 千葉県千葉市 秋山 孔孝様 金五千元  
 東京都豊島区 天野 尚夫様 金三千元  
 茨城県阿見町 飯塚 久之様 金一万円  
 兵庫県伊丹市 池田 哲男様 金三千元  
 愛知県岡崎市 池 太郎様 金五千元  
 茨城県土浦市 石田 和美様 金五千元  
 兵庫県芦屋市 石田 典生様 金一千元  
 神奈川県川崎市 磯貝 孝子様 金一万円  
 神奈川県川崎市 伊藤かをり様 金五千元  
 宮城県岩沼市 猪股 恒一様 金三千元  
 神奈川県横浜市 岩澤 純造様 金五千元

東京都東村山市 岩館 芳雄様 金五千元  
 群馬県太田市 今井アサ子様 金一万円  
 群馬県前橋市 今井 貞子様 金五千元  
 茨城県常総市 遠藤 利 様 金一万円  
 茨城県阿見町 大川 恭男様 金五千元  
 佐賀県鳥栖市 大久保浩之様 金二千元  
 東京都港区 小野 亜希様 金一万五千元  
 大阪府大阪市 長部 邦宏様 金五千元  
 神奈川県足柄市 金井 克巳様 金五万五千元  
 宮城県仙台市 掛田 啓明様 金五千元  
 札幌市豊平区 川岸 義規様 金五千元  
 東京都渋谷区 河野 美登様 金七千元  
 群馬県渋川市 岸 英夫様 金五千元  
 長野県千曲市 北村 直也様 金三万円



福島県南相馬市	栃木県足利市	神奈川県藤沢市	群馬県藤岡市
工藤 垂穂様 金五千元	塩田光四郎様 金五千元	谷口 五郎様 金五千元	針谷 賢一様 金五千元
福岡県筑前町	埼玉県川口市	東京都東村山市	広島県広島市
久保 和雄様 金三千元	清水 亮 様 金五千元	溜池 通男様 金五千元	畑谷 博巳様 金五千元
広島県呉市	長崎県大村市	兵庫県加西市	神奈川県川崎市
久保 慶子様 金二万円	城島 宗安様 金五千元	為平 浩一様 金一万円	神奈川 義治様 金一万円
千葉県香取市	東京都杉並区	東京都多摩市	長野県大町市
國分 迪夫様 金三千元	鈴木 茂男様 金三千元	津島 裕 様 金三千元	平林 峰子様 金五千元
埼玉県さいたま市	静岡県焼津市	東京都千代田区	福島県南相馬市
小島 卓 様 金五千元	鈴木 昭吾様 金一万円	出口 多聞様 金一万円	深野 久 様 金一万円
千葉県千葉市	埼玉県川口市	東京都葛飾区	埼玉県川越市
小林 和夫様 金一万円	鈴木 秀子様 金一万円	豊岡 昭 様 金五千元	藤野 つね様 金一万円
東京都千代田区	茨城県水戸市	山形県上市市	東京都調布市
酒井 章 様 金三千元	住谷 定 様 金三千元	富澤奈津子様 金三千元	保坂 俊雄様 金二万円
茨城県阿見町	静岡県静岡市	茨城県阿見町	大分県大分市
酒井 省三様 金五千元	菅野 寛也様 金五万円	仲川 紀男様 金二千元	堀端 優子様 金一万円
東京都大田区	茨城県龍ヶ崎市	熊本県熊本市	茨城県土浦市
酒井 陽太様 金一万円	高瀬龍太郎様 金一万円	永光 頼光様 金五千元	真島 博厚様 金一千元
熊本県菊池市	茨城県つくば市	愛知県東栄町	神奈川県相模原市
坂本 真菜様 金三千元	高橋 照子様 金三千元	夏目 博史様 金五千元	松尾 貢 様 金五千元
新潟県新発田市	東京都立川市	東京都青梅市	神奈川県藤沢市
佐藤 剛 様 金五千元	高部 博 様 金五千元	並木 茂 様 金一万円	松下 貴子様 金二万円
埼玉県さいたま市	長野県須坂市	大阪府高槻市	栃木県那珂川町
佐藤 肇 様 金二千元	竹前 正一様 金一万円	二階堂安雄様 金三千元	松本嘉一郎様 金五千元
茨城県古河市	東京都青梅市	神奈川県逗子市	愛知県名古屋市中
佐怒賀一美様 金一万円	太宰 信明様 金三千元	野口 忠洋様 金五千元	松本 順子様 金三千元
東京都江戸川区	香川県高松市	神奈川県横浜市	三重県尾鷲市
塩澤 貞夫様 金五千元	多田野 弘様 金一万円	服部 義隆様 金三千元	三浦 昇 様 金五千元

茨城県阿見町 箕輪 康弘様 金三千元  
 千葉県船橋市 水澤 成雄様 金五千元  
 茨城県稲敷市 満岡 忠之様 金五千元  
 埼玉県北本市 宮下 久代様 金七千元  
 大阪市城東区 村木 良治様 金五千元  
 埼玉県さいたま市 村松 昭男様 金五千元  
 東京都杉並区 六車 昌晃様 金五千元  
 神奈川県横浜市 山崎 久雄様 金一万元  
 栃木県足利市 山岸 修次様 金一万元  
 山口県周南市 山田 太郎様 金二千元  
 埼玉県熊谷市 安田 直弘様 金一万元  
 茨城県阿見町 湯原豊一郎様 金五千元  
 福岡県広川町 横手 利秋様 金三千元  
 茨城県阿見町 横張 浩 様 金五千元

東京都板橋区 吉田 一則様 金五千元  
 兵庫県川西市 吉川 誠二様 金五千元  
 東京都板橋区 千葉県千葉市乙種予科練 十九期生会様 金一万元  
 茨城県土浦市立正佼成会 土浦協会殿 金三万元  
 広島県呉市 戦没学徒慰霊祭 実行委員会殿 金一万元  
 (供花料)  
 東京都板橋区 吉田 一則様 金一万元  
 栃木県那須塩原市 君島 操 様 金一万元  
 茨城県阿見町 武器学校OB会様 金一万元  
 玉串料ご奉納に 厚く感謝申し上げます。

三四三空隊史 ⑬

四〇七整備分隊記

成松 孝男(分隊長)

昭和十九年十二月、比島ク  
 ラーク基地の二二一空から九  
 七陸攻の胴体につめこまれ、  
 林喜重隊長が出水で編成中の  
 四〇七飛行隊に整備分隊長と  
 して着任した。  
 前後して搭乗員も整備員も  
 相集い、若き名隊長の下、猛訓  
 練が開始された。  
 出水での訓練機はまだ零戦  
 で、滑走路も銀河と共用し、急  
 降下爆撃訓練中滑走路の真中  
 に突っこんだ銀河にふっ飛ば  
 されそうになったこともある。  
 二十年始め本拠地松山に移  
 動し、紫電戦闘機隊としての  
 本格的な訓練が始まった。  
 訓練初期は中翼二段引つ込  
 み脚のノッポ機で、着地のバ  
 ウンドやブレーキのかみつき  
 で、無残にも引っくり返った  
 り追いつくばったりして、緊  
 張の連続だった。  
 低翼の紫電改になってそん  
 な事故は減り、独創的な空戦  
 フラップについても作動不良  
 を指摘されたことはほとんど  
 なかったが、油漏れや脚の出

し入れの不確実、種々の原因  
 による振動などが、引き返し  
 の主な原因となった。  
 分隊は番井中尉、朝倉少尉  
 等の分隊士、河出、荒木先任下  
 士官、岩月、小熊、正能、熊谷、  
 鈴木等の班長以下優秀な整備  
 員が一体となり、戦争末期の  
 部品不足、材質不良を乗りこ  
 えて、最大の稼働機数を維持  
 し、最高の性能を発揮出来る  
 よう頑張った。  
 三月十九日の空戦を我々は  
 手に汗握って見上げ、敵機が  
 撃墜される度に歓声を上げた。  
 帰投した機は頭上の敵機を睨  
 みながら整備給油して再び飛  
 び立ったが、給油中の一機は  
 敵編隊の急降下銃撃を受け炎  
 上、河出先任下士官が負傷し  
 た。  
 鹿屋に進出してから尾輪引  
 つ込み装置の事故があり、一  
 夜で全機の取替えを命ぜられ、  
 加藤中尉が樋口技術大尉とと  
 もに徹夜で走り回っていた。  
 整備員の数が少なく隊員の苦  
 労は大変なものであったが見

事にやりとげて、翌日の作戦に間に合わせる事が出来た。

ここでは発進待機中の列線に、敵編隊の急降下銃撃を受けたが、三回の波状攻撃の間に地上の全機を退避させ得たことを今も誇りに思っている。

国分で始めてB-29の爆撃を受け、地上で被害があった。ここには機に掩体壕がなく、整備員に防空壕もなかった。そしてやがて我が隊長が、勇戦奮闘出水上空に散華される最悪の日が来た。

大村移動後整備中の一機が、ガール不良のため炎上する事故があり、司令に恐懼報告したところ、一言の叱責もなく、製作および整備上の対策を徹底するよう指示された。

この頃からB-24の定期便爆撃が始まり、地上でも整備、列線待機、出撃送迎、分散退避と必死だったが、空では連日の出撃に、奮闘を続けた二代目隊長コレスの林啓次郎大尉始め、豪勇の搭乗員の戦死相づき、三代目光本隊長が着任

奮戦中、長崎上空に巨大な原爆の閃光を見て戦は終わった。

謹んで戦死された隊長始め搭乗員の御霊前に、久方ぶりの御挨拶を申し上げると共に、各隊長の下、共に戦った四〇七整備分隊全員の名譽を記念して想い出を記した。

菊池 康夫（整備）

### 三角兵舎

転勤または基地移動、これは海軍にはつきものだった。海軍生活最後の転勤そして基地移動は、三四三空（剣部隊）での松山基地から九州の大村基地へだった。昭和二十年四月米軍は沖繩に上陸、いよいよ本土決戦間近かと思われ、我々兵隊ばかりか全国民緊張と不安な時だったと思う。

いよいよ我々紫電改戦闘機隊は九州へと転進することとなり、先発整備員はたしか汽車で行ったと思う。何回かにわたって飛行隊も松山基地から姿を消し、我々後発隊も用

事が済んで輸送機で松山基地をサヨナラした。

やがて大村基地だ。早速兵舎へ。ところが兵舎は危険なので空兵舎で、飛行場より二キロくらいは離れた民家の近くだった。

ここだと示されたのは三角屋根だけの長いバラックの建物だ。柱も軒もない。屋根の内が居住区だった。長い建物の真中が通路で、両側は板の間で食事ごとに食堂となり、夜は毛布を敷いて寝る場となるのだ。

どこから見ても兵舎とは見えない。我々は三角兵舎と呼んだ。着いた頃は空襲は未だなかった。夕方近く河原にある露天のドラム缶風呂へ入った。内地であるのに戦地気分満点。やがて本当の戦場となった。

当時若年兵だが、年老いた召集兵の方々が食事当番専門で、炊事場より食缶を下げ、三角兵舎あるいは整備中の愛機と同僚のいるところまで、一

日三度毎日毎日大変だったと思う。

当初三角兵舎は、度々大小の爆撃にあったが、飛行場から離れていたので安全だった。今日の空襲にも無事かと眠りに入った深夜ドカンと大爆発だ。空襲にしては爆音が聞えない。そうだ昼の空襲の際の時限爆弾だった。また夜大雨降りだったので安心し、昼夜連日の整備に身も魂も疲れ果てあの世に行ったように深い眠りについた真夜中、大型機の爆音が何時間続いた。

佐世保への波状攻撃のB-29が我々の頭上を通過したのだ。遠雷のような爆発音が聞えて来るが、眠くて眠くて眼が開かなかつた。

度々の爆撃の度に何人かの戦友が消えて行った。終戦間近かの爆撃で、三四三空の前の光部隊からの知り合いである先輩班長で、大の張切り者だった高村上整曹が遂に無念の戦死をした。頼みとして来た大物班長戦死に、三角兵舎

もしんみりと淋しかった。

今日は俺か、明日は自分か、と思いながらただただ一心に愛機紫電改の整備にはげむ連日だった。

やがてこの兵舎も危険となり、外出の時休息する集会所の二階へと宿舎を移転することになったが、程なく終戦となる。

度々の空襲にはコンクリートの防空壕、また離れた山の横穴へ駆込み、道路の側溝へ身を伏せ、八月九日には長崎の原爆を間近かく見たことなど、それと三角兵舎での戦友の顔顔が、いつまでもいつまでも忘れられない。

## 水戦から紫電改へ

望月 誓一（整備）

私と紫電の結びつきは誰よりも長く、かつ深いと思う。昭和十七年十月、高整卒業時横空水戦分隊に配属されたのが縁である。当時零戦を水上戦

闘機に改造し結構戦果をあげていた。しかし航空本部ではこれにあきたらず、N1と称するより性能のよい試作機を秘かに川西航空機に作らせていた。私はこのN1の実用実験の担当となった。そして翌月だったと思うが、川西航空機に講習に行き、はじめて実物にお目にかかった。

中翼のズングリした感じで、「これで要目通りの性能が得るのだろうか」と疑われた。エンジンは三菱の火星をつんでいた。二号機か三号機のどちらかが延長軸で、どちらかが二重反転プロペラ用のエンジンをつんで実験することであった。

講習を終わって帰ると間もなく、一号機が航空技術廠へ飛んで来た。一連の実験を終わると私達の分隊に移され、いよいよ実用実験が始まった。間もなく二号機も三号機も来て実験は急ピッチで進められ、多忙な毎日が続いた。特にN1の目玉であった空戦フラッ

プの故障が多く泣かされた。

水銀の表面に出来る「アマルガム」という不純物の幕が原因であることが分った。当時水銀の純度の高いものとはとより、絶対量も足りないとは聞いていた。その後紫電、紫電改となった実用機では、発信器よりも油圧系統の故障が多かったように記憶している。

こうして十八年の五月頃には実験も終わり、正式に兵器として採用され、新しい水上戦闘機部隊の編成も進み、アポンへ進駐することになった。私も当然行かされるものと秘かに胸をおどらせていた。ところが航空本部では、先きの見えてきた零戦に代る戦闘機の開発が思わしくなく、N1を陸上の戦闘機に改造する計画が着々進んでいた。しばらくして実験機が横須賀へ飛んできた。水上戦闘機のフロートの代りに車輪をとりつけたと思えばよいのだが、それが案外面倒であった。というのは、水戦は中翼だったので

脚が長くなる。

ためにそのままでは脚を折り畳むことが出来ない。一度脚を縮めてから内側へ折り畳むいわゆる二段方式の折り畳みのため、構造は複雑となるばかりでなく重量、強度的にも問題があり、今度は脚に泣かされる破目となった。

このことから低翼化が進められた産物が紫電改である。なお陸上機に改造された時、エンジンは火星からホマレに変更された。

紫電の実用実験も大体終わりに近づいた頃、私は特修科練習生に指命され、当分の間二足のワラジを続けた。十九年七月特修科卒業と共に、三空（シシ部隊）に転勤し、手しおにかけて来た紫電と共に刻々と悪化する比島へ進駐するための猛訓練が待っていた。ところは明治基地、私の生まれ故郷である。この時の転勤旅行は私の新婚旅行でもあった。

明治基地についたものの、

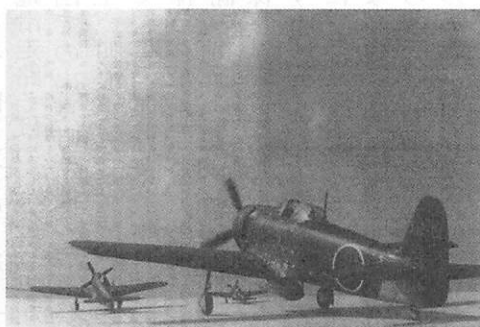
紫電改はおろか紫電もまだ一機もない。零戦での訓練を

続けている間に一機また一機と紫電が空輸されて離着陸訓練から始められた。入れかわり立ちかわり猛暑の中での離着陸訓練のためブレーキの摩擦熱でタイヤが非常によくパンクした。実用実験では考え及ばない出来事に、急場しのぎとしてバケツに水を用意し、搭乗員が交替している間にドラムに水をかけて少しでも熱をさます苦肉の策をろうしたことを思い出す。先にちよつと書いたが、明治基地での訓練中は、脚の故障とパンクのため、あたら胴体着陸を余儀なくされ、ために残がい列が出来た。

そうこうするうちに紫電に代り紫電改が空輸され出して入れ代るころ、明治基地での訓練も終わり宮崎へ移動して仕上げの訓練を続けた。忘れもしない十九年十月十六日、我が四〇二飛行隊は台湾沖の敵機動部隊の攻撃を兼ねて沖

縄經由台湾へ向け発進した。

我々もすぐ後を追った。その頃沖縄では、敵の艦砲射撃や爆撃のため目的の小緑の飛行場には着陸できず急遽陸軍の読谷山飛行場に着陸することになった。



空から見る飛行場の周辺は焼け爛れた飛行機の残がい、爆撃による大穴だらけで、いよいよ来た、と身の引き締る思い。私の初めての体験である着陸後約一時間で故障機の修理、燃料補給を終り飛行隊を送り出した。 つづく

## さらば予科練 ⑤

乙飛十九期 山田 稔

### 今もなお航空隊の町！

申良行

「申良町において慰霊祭と、申良空八期生（乙二十四期生）による「翔空」の碑除幕式が行われるので出席してほしい」との招待を受け二十四期会長藤原安チャンと二人、東京発鹿児島行き全日空一番機上の人となる。羽田は私にとって、忘れられない飛練の地。烈しい東京空襲の最中のここでの日々は、雪の飛行場駆足等の思い出と共に今でも鮮やかだが、巨大なジェット機の並ぶ現在の飛行場からは、そのカケラさえ見つけることはできない。三十三年前、特攻隊の勇士もこのコースを飛んで九州へ、沖縄へとまなじりを決して征きに征ったのではなからうか？はるか眼下のさざ波の海も、流れ去る雲の柱も果てしなく何事か語る如く雲海は

漠々と果てしなく続いている。定刻、ドンピシャリ。鹿児島空港着。スチユワーデスの熱い眼差しに送られて、秋の日差しとは思えぬ強い陽光の九州に第一歩を印す。鹿児島県申良町は大隅半島の中ほど、志布志湾に近くここに申良海軍航空隊が司令高岡羊吾大佐の下、開隊されたのは戦局も漸く敗色濃い昭和十九年四月であった。

そして隊には一、二、三、五そして八期と、約五千人の予科練生が入隊した。当時の八期生末光邦治練習生（広島）の話によれば、航空隊のある高隅高原の冬は南国とはいえ厳しく、一面の霜柱を踏んでの訓練は、相当身にこたえたと言う。彼らは昭和十九年十二月「土浦空入隊、即日申良空派遣修業ヲ命ズ」ということで、いざ入隊してみたたら、どうやら整備練習生らしい？さあ、一斉に不満が爆発したが「お前たちは幾多南方海域航空戦の戦訓により搭乗員の整備術の必要性から急遽養成されることになった」という教員の前支えに合わせたの訓戒に

より、漸やく納得したという。やがて沖繩戦の激化により、隣接する基地には敵艦船に対する特攻機の飛来が日を追って激しく、白いマフラーなびかせて爆音高く飛び来たり、飛び立つ天山艦攻、九九艦爆、白菊等の爆装特攻機を誘導し、また、見送る毎日が続いた。出撃する搭乗員は、予科練生がここにいることを知ると、

「後は頼むぞー後から来いよ」と肩を叩いて笑いながら出撃していったという。こうした強烈な印象を短期間ながら体験した八期生は「わが青春の埋めしところ」申良空を忘れがたく、昭和五十年十二月旧隊門跡に高さ十四メートルのポールを建て、近くの農家の好意により以来、毎日軍艦旗を掲揚し続けたが、この度、大阪の堀 邦雄君を中心に、畝田谷君、四国の金沢、藤高、戸田君そして前記末光君ら三十四名の有志相図り、高さ二メートル、御影石二段重ねの素晴らしい記念碑をその側に建立した。

除幕式は申良町営による、申

良基地出撃三百五十九柱の三十三回忌追悼慰霊祭の行われた十月十五日、台字「翔空」揮毫の高岡司令（四日市市在住）や、地元町長、町民を招き同窓生十五人参列の上開かれたが、この模様は翌日、新聞・テレビで華々しく報道された。

なお、除幕式に引き続き元基地滑走路そばの慰霊塔、平和公園での申良町主催の慰霊祭席上、町長さんはその挨拶の中で、この記念碑を「予科練の皆様ありがとうございます」と感謝の言葉とともに紹介し併せて保存は町でご奉仕させて頂きますと、固く約束された。ちなみに、申良町の町をあげての並々ならぬこれら海軍航空隊に対する関心の高さ、なかならず慰霊の実施については続いて立たれた、さえた元町長さんのお言葉によれば、四十四年十月町の補助百万円、一般町民の浄財百万円を得て、白鳩の中天高くまさに南の空目指して飛び立つ様の慰霊塔を建立、以来毎年町をあげて慰霊祭を実施、年毎に町民の共鳴を得、盛大だという。ま

た、慰霊塔付近は平和公園としてよく整備され、春、秋の子供たちの一日遠足の恰好の遠足コースにもなっているが、今度建立された翔空の碑と併せ、名所がさらに一つ増えたわけになるう。

当日は海上自衛隊鹿屋基地より、三機編隊による慰霊飛行、ヘリコプターからの花束投下、さらに儀仗隊の参列があり、ご遺族、県知事、県議長以下名士多数の外、前年に倍する町民の参加を得て神式・仏式により盛大に開催された慰霊祭に、八期生はもちろん地元鹿児島予科練会（前田米吉氏指導）と共に参加した私たちは、雄飛会を代表してご挨拶申し上げ、特に申良町長始め町民各位の永年に渡る崇高なるご奉仕と熱意に、深い敬意を表した次第である。

申良町は昭和五十二年度全国優良市町村として鹿児島県からたった二つ、かつての陸軍特攻基地のあった知覧町と共に、晴れの総理大臣賞の栄誉を受けたが、これらの素晴らしい業績をおもんばかる時、また、むべな

らかなの感を深くせざるを得なかった。

最後に今回の申良行きに際し、多大のご援助を頂いた八期生諸氏、また、お世話になった雄飛会九州支部松浪事務局長に、深く感謝申し上げる次第である。

### 予科練の光と影

思えば昭和十七年・十八年が土空の最も華やかで栄光に満ちた年であつたらう。

十七年七月、昭和天皇が土空に行幸された。それを報じた毎日新聞（私の家ととっていた）一面の天覧体操する練習生のなんと見事な姿体、澁刺とした若者のマスケーム、五十年経った今でも脳裡に焼き付いて離れぬ映像美である。私も十二月の入隊を控えていたから印象が余計に深かったのかも知れないが、こんな若者たちの仲間入りができるかと一抹の不安がよぎったのも事実だ。

ちなみに今だから言うと、私は予科練のクズだと思つてゐる。子供の頃から病弱で、ちょ

いちよいヒキつけて親をいつも驚かせたり、泣かせたりのボンボンで、三月埼玉師範の受験を控え、憧れてはいたが、たぶん無理で当然と力だめしの筈が、乙上合格とは？乙下にしてくださいとお願ひしたいの山々であった。そして入った途端、短ジャケット、七つボタン。十八期と違ひセーラー服はどうとう着ず仕舞いに終わった。

十八年六月、皇太子様（現上皇）が土空へ行啓された。この時の記念写真を二葉、一枚は第二練兵場で滑空（グライダー）訓練をご覧になっているところ、一枚は霞空の神社前で学友と相撲を取っておられるのを大事に持っている。この写真は終戦後、霞空前の写真館で復員土産に珍しいので購入したものである。そしてこの年一番のファンファーレは、何と云つても「決戦の上空へ」の撮影そして上映であろう。数人の俳優が一寸頼りない練習生に扮した外は、私たちがエキストラで演出演、ラストの卒業式の行軍と「帽ふれ」そして頭上には赤とんぼ

の編隊飛行、懐かしくて今思うと涙が出そうな場面である。強烈な予科練へのノスタルジーである。

そして主題歌「若鷺の歌」の決定！。古関さんと歌手波平さん（後霧島昇さん）が二曲のうちどちらが良いかと私達を前に歌い、そして決定した名曲。この歌はやがて全国津々浦々で歌われそして終戦までどんなにか多勢の有為の若者が予科練に憧れ入ったことか。十九年十月二十五日、特攻・敷島隊の出發の時、期せずしてこの若鷺の歌が澎湃として沸き起こったのである。

思えばなんと激烈で、そして悲しい時代であつたらう。かけがえもない若者がなんと多く死んだことだらう。私は軍隊の持つ愚劣さと非情さを思わずにはいられない。なぜ、栄光ある海軍、栄誉ある予科練が減じたか？それをアメリカのせいにするのはたやすいけれど、やはり、我々の組織の中にその病原は深く潜在していた！と感じざるを得ない。

その一つの例をしるそう。それは私が予科練に入つて一番腹立たしかつたことはこんな歌を聞いた時である。

人の嫌がる軍隊（予科練）へ  
志願してくるバカもある。

これはとんでもない歌である。これほど私達若くして志願した者を侮辱した言葉はない。俺たちを何だと思つているのだ、誉められこそすれケナされる筋合いはない。だが、現実

違つたのだ。故友田宏兵曹がバツターを振るう教員に「ここは囚人分隊か、この隊は囚人の集まりであるのか」と叱咤したような状況が日常茶飯事で、私たちの個性や自主性等を顧みない画一的な別世界であつた。

志願兵とは要するに若く、したがつて比較的進級が早かつたから、一般徴兵組から見れば異端者、秩序を乱すやからである。歌には自嘲的な響きさえある。日本は縦割り社会で天皇を

頂点とした封建社会を形成し、戦後のそれは現在においてもいささか変わるものではない。その秩序を破るものはその社会

（軍隊）から厳しく糾弾される。これは三章（軍令奉行令）で述べるが、海軍と言わず軍隊の中にはすでに多くの問題と、修復不可能な色々な悪弊が（小は員数合わせから先程の罰直等）積もり積もつていて、極端な言い方をすれば「砂上の楼閣」化していったのではなかつたらうか？。

二十年四月十四日、昭和特攻隊員として沖繩で散華された佐々木八郎少尉はその遺文の中で「急には払拭出来ぬ程根強いその力が、戦敗を通じて叩き潰される事でもあれば、かえつて或は禍を転じて福とするものであるかもしれない。はや我々は、組上の鯉であるらしい——

### 特攻隊の真実

特攻隊のことを思えば、無念、悲惨、追悼、感謝、敬慕とどんな言葉をもつてして彼らの勇魂を慰め、祈つていいかその

言葉もない。特攻隊については今までも種々な刊行書があるが、御田重宝著「特攻」（講談社文庫）及び森史朗著「敷島隊の五人」二巻（文春文庫）更には以前読んだ高木俊朗著「陸軍特別攻撃隊」三冊等々から知るところは、彼我の隔絶した戦力と戦勢の推移から軍中央（軍令部）では十九年初頭から特別兵器の計画と生産に動き出したという。中沢祐第一部長は「これは使う前になんとか戦争を止めなければ」と述べたと言われるが、特攻は下からの熱烈な意思表示（例えば回天の黒木中尉、桜花の大田少尉、外に城英一郎大佐等）があつたことは否定できないが、だと言つて、岡村基春大佐の「この戦局を打開するには（事ここに至つては）飛行機による体当り以外にはない。兵学校出身者でも、学徒でも、予科練出身者でも体当り志願者はいくらでもいる。私に三百機ください。必ず戦勢を転換させてみせます」の発言は一体なんだろうか？。

はしなくも軍上層部の人間軽

視の一端が露呈したと言つていい。国のため、祖国を敗戦の呻きから救うために兵としてもちろん一命を捨てる覚悟はできていてもそれを待つてましたとばかりの非情さは、この他に何か打開の方法はなかつたかと、あえて上層部に問いたい。下からの熱意の結晶ともいえる回天および桜花にしても、夫々の会では大戦果と記録しているが、ウォーナー著「ドキュメント神風」（徳間文庫）によればいささか違つているのに驚かされる。誠に不本意ながらやはり発想に無理があつたとしか言いようがない。

すなわち、両兵器共根本とも言える欠陥を内蔵していたのである。まず回天の場合、操作の複雑さで実に十一の基本操作の他、特眼鏡（潜望鏡）の昇降、調整等々多岐にわたつていゝ。また、荒天で波浪の高い場合のツリムや、一メートルの特眼鏡では視界が困難となり（ウルシーでは油槽船を空母と間違えて撃沈した）、船体が露出する等、米側の資料がある。桜

花については当初から専門家が見て大きな不安が予測されていた。それは隊員の突入技術（スピード、角度）の他母機である一式陸攻の性能であつた。桜花を吊るすことにより速度が300kmから280kmに落ち、グラマンの約半分になる。ある隊員の手記によれば不要になつた桜花を切り離れたところ一挙に200mも飛びあがつたと言う。

二十年三月二十一日、全滅した櫻花隊の野中少佐は「こんな軽業みたいなもの兵器じゃねえ」「俺は桜花作戦は司令部に断念させたい。もちろん自分は必死攻撃を恐れるものではないが、攻撃機を敵まで到達させることができなことが明瞭な戦法を肯定するのは嫌だ。クソの役にも立たない自殺行為に、多数の部下を道連れにすることは耐えられない……。」この遺言ともいえる少佐の予感不幸にも的中してしまつたのである。

戦後、大西長官、岡本大佐は自決されたが、桜花の発案者の大田少尉は零戦で海へ向かつて

飛び立ったが、その後生きて会つた人がいると言う。

とまれこのような不完全な兵器で（不完全と言へばすでに第一線機でない飛行機や練習機等）出撃された特攻隊勇士の方々の犠牲と献身は、悠久の大義ではすまされぬ、烈しい怒りと悲しみである。不完全兵器といへばベニヤ板の特攻ボートと言われる震洋について十九期及び二十期が該当すると思われるが、コレヒドール及び沖繩戦で出撃戦死している。前述、ウォーナー著「神風」によればベニヤ板の震洋は搭乗員の素晴らしい闘魂から回天・桜花に劣らぬ大戦果を挙げている。

陸軍海上挺身隊は略するが、コレヒドールにおいては大型上陸支援艇二隻を撃沈、沖繩においては歩兵揚陸艇一隻を同じく撃沈している。

これら特攻死された方、さらに途中海没された六隊の特攻隊員の方は不思議と言うか、無視されたと言ふべきか、実に突入或いは戦死された方、そして特にご遺族の方に申し訳ないとし



か言いようがないが特進（特攻死の場合、下士官から少尉）されず、コレヒドールでの十九期生の場合、「二十年二月二十五日、勇戦奮闘中のところ、敵と交戦、戦死したものと認む」である。（突入は二月十六日）

既に本土決戦・一億特攻の上層部にしては飛行機以外は特攻ではないというのだろうか？十九年八月末、三重の剣道場で司令の要請により祖国のため、欣然大空への道を自ら断ち切つて、震洋特攻へ進んだ同期および後輩の勇者たちである。

当時、その場に立ち会った筆者として「飛行機乗りを断念する」と言うことには強い不満を抱き、海軍不信をまた増幅した一人として誠に無念でならない。

つづく

計報 本編著者 山田 稔様  
最近入院加療中のところ四月二十九日急逝されました。  
心よりご冥福を、お祈り致します。  
編集部

## 雄翔館見学者感想文

日々の日常生活に感謝。隊員の皆様方に感謝。これから日本国のために宜しくお願ひ致し、私たちも日本の平和について考えていきます。

令和四年三月

盛岡市 澤田様

高校野球の指導者をしていただきます。今の生活がどれだけ幸福なことなのか、野球や自分の好きなことをやれる人生が本当に当たり前ではないと感じました。生徒と共に成長したいと思います。

令和四年三月

盛岡市 松崎様

特別予科練出身の方の名前は日本名だけでなく、もしわかれば母国でのお名前を書かれた方が、それらの国から訪れる見学者の心情に配慮したものとなりより良い展示とな

るのではないでしょうか？

特攻隊員の純真な想いを貶めることが無いようにという、皆様の想いには深く賛同いたします。この展示を支えている海原会の皆様には頭が下がります。

世代交代が進んでもこの雄翔館の展示が継がれていくことを願っております。

令和四年三月

東京都練馬区 宮脇様

当時の思想や行動の善悪は勉強不足の為判断できませんが、彼らの思いを考えると勇気が湧いてきます。悲しみややりきれない気持ちと同時に公の為に尽くす方々の考えに触れる心地良さを感じました。

令和四年四月

兵庫県尼崎市 窪田様

祖母は戦中出生の身、幼少

期に戦争を体験していますが、私は平成生まれのため全くと言って良い程に現実感がありませんでした。

ただ、昔より祖母から伝え聞いている戦争のひさんさは知っていたので、きょうみはしかとあり、本日、いろいろなものや事象・時系列等を見て、あらためて戦争の大変さと、そこに命をかけた国のために向かった人々の心が痛むと同時に感謝や新たな思いも生まれました。

一人一人考え方や思うことも違い、そして、命は何であれ大切にされなければならぬのだと痛感致しました。こういう過去の出来事をもっと来世へと伝えるべきだとも思いました。

令和四年四月

阿見町 青山様（お二方）

私は小学生のとき、「レイテ沖海戦」という米国発行の書籍の日本語訳を読み、初めて「神風特別攻撃隊のことを知

り感銘を受けました。死というものを知らない小学生の私は「自分も神風特別攻撃隊の一員となり死にたい」と思っただのです。

祖母に「お前は大きくなったら何になるんだい？」と聞かれ即答したのは前記の通りです。祖母は烈火のごとく怒り一時間ほど正座させられクドクドと説教されました。

祖母は生け花千草流の家元で、土浦二校が女学校だった大正時代に華道部を創設させた人です。祖母のお弟子さんに空母大鳳の艦長だった菊池朝三少将のお嬢さんがいらして、そのご縁で会わせてもらいました。

特攻隊に憧れる少年に菊池少将は優しく諭してくださいました。少年時代にここを訪れていたなら「特攻隊で死にたい」などと決して言わなかったと思います。鬼籍に入ってから50年の祖母や菊池少将のことを特攻隊員の遺書を読みながら思い出させていただきました。

した。ありがとうございます。

令和四年三月

土浦市 佐賀様

桜の満開の時期 一時思い

をはせました。ロシア・ウクライナの戦争一刻も早く停戦してほしいです。

令和四年四月

(八十歳女性)

本日はありがとうございます。今改めて戦争のおそろしさ、死の尊さを考えさせられます。

前、楽しそうに話す家族を見て平和な日本、悲惨なウクライナ、世界平和、

恒久に願うばかりです。

令和四年四月

(匿名)

自分と同じ年齢の若者が国の為国民を代表して軍隊に入り、とても苦しい訓練生活を通して、何を感じながら生きていたのかを知ることができた。

又、多くの方が戦争で亡くなり、自分たちはその上でできた、安全で便利な生活をしているのだと、改めて、感じる事ができ、とても良い経験になった。

令和四年四月

荒川様

広島で生まれ、平和学習を小さな頃から受けてきました。大人になり久しぶりに知識を

深めることが出来ました。

今、この時代にまた戦争が始まっていることに心が痛むばかりです。若い人の希望をつぶさない日常が世界の共通認識になつてもらいたいです。せつかくのすばらしい施設を、茨城県の小学校・中学校の子供たちにもっと見に来てくれるらいいなと思います。

令和四年四月

はるか様

戦争を知らない私と妻、そして娘にとって改めて平和の大切さを実感する事ができま

した。

日本そして世界の歴史を子供と学び、平和な日々を送れることの喜びを毎日感謝しながら生きていきたいと考えます。

令和四年四月

石岡市 高橋様

貴重な資料を拝見でき、ありがとうございます。今日の平和な日本を再認識でき戦争の教訓を強くかみしめ、未来への平和のかけはしを子供たちに伝えたい気持ちです。

小生の故郷は越後長岡ですので五十六さんの後輩です。母校長岡高校では五十六さんの肖像画、記念講演模様、来訪時記念撮影した大木が残っていますので、在学時から尊敬の大先輩、郷土の誇りです。

長岡山本記念館では、高野

五十六時代の達筆長文も拝見しており、雄翔館での五十六さんの自筆署を見て感銘です。「やってみせ」の名言、戦争回避の努力、五十六さんの取組

の志を生かし、ウクライナ惨劇の早期収束に貢献したいです。

令和四年四月

さいたま市 佐藤様

ウクライナとロシアの戦争が始まり、日本人も戦争について考える機会が増えたと思います。若者も「TikTok」というアプリを通じて大日本帝国という名称を知り（スマートフォンでダウンロード）、そこから戦争を学ぶ時代になりました。

身近に戦争を感じられる日常の中で、戦争のみにくさや恐ろしさ、悲しさを知る人が増えました。戦争は避けるべきだと多くの若者が実感しています。これから先、平和を願ってやまないです。

国のため、家族のために亡くなった英霊の死を無駄にしないよう歴史を学び日本を守りたいと思います。

令和四年四月

大森様

## 予科練教官として②

海軍文官 清水 房雄

### ある記念講演より

本番の八月十五日に入りますけれども、私が倉敷に行きましたら、もう、海軍に飛行機はございませんし、普通学をやってもどうしようもなくとにかく食い物がありませんから。

食料増産が主な仕事になりますから授業なんかできません。数学の人は数を得意とするから近くのちよつとした山を伐採した所の測量をやっていくわけです。ジャガイモや野菜を作るので。

歴史や国語の先生たちは測量ができないから百科事典から薬草を書き抜くんですよ。ドイツから薬が入って来ないからって言われました。

で、私はっていうと「お前はそういう事をやってもできないから」って言われました

特別な仕事をやらされたんです。

何かと言うとね、副官をやらねと言われたんですよ。正しくは「副官代理・補佐官」です。

副官と言いますのは隊長の腰ぎんちやくで、倉敷空くらいですと隊員は三千人位いましたか。司令っていうのが連隊長にあたりますからね。

大佐、あるいは少将くらいで副官というのはその秘書です。これを私のような文官がやるのは、おそらく帝国海軍初めてじゃないですか。

本当は軍人がやるんだけれども人手が足りないもんで。航空隊には三千人くらいいますして兵学校出たのが司令。そして副長。学校で云えば教頭さんです。

それから砲術長って言うのが大砲を打って号令掛ける役なんで大体大尉位です。

その三人が兵学校出です。副官は兵学校出がやらないと本当は駄目なんですけど、そ

れまで人手が足りないからと少佐の主計長がやってたんです。副官代理という訳です。所が「俺は忙しくてたまらない」って云ったらしく、私を、あいつが遊んでるからってんで。

従って隊内の正式名称は、「副官代理補佐官」でした。

業務内容は副官で、そこまでは良かったんですが、空襲の時お隣が三菱重工ですからね。そこに爆弾が落つこちるようなのが見えるんです。がその時防空壕に入れない事が判ったんです。

時計を見てまして「何時何分、敵機何機来襲、爆弾投下三菱工場に命中」なんて、私の言うのを若い水兵がそばで書くんです。そんな事でこの水兵と私は防空壕に入れないんで、えらい事になったと思いましたがね。怖いって気はありませんでした。：が危ないって気はありました。そのうちに終わったんですが、あの広島の子のこ雲は見ました。

倉敷の海軍航空隊つてのは水島湾沿岸の美田を埋めちやつて作つたんですよ。ですから向こうが水島湾で、その向こうに煙が立ちましてね、煙突みたいに。

しかし何時までも消えない煙で、なんでだろうなあつていううちに忘れて「きのこだぞー」つて言われて行つてみたら、あのきのこの形に煙がなつてゐるのを見ました。

### 特殊爆弾のこと

そして、そのあとになりますが、きのこのあれが八月の上旬でしょ。隊務会。学校で言えば職員会議ですけどもこれが文官も武官も士官以上は集まります。

その時広島に特殊爆弾が落ちたことについて指示が二つございました。一つは、もしそれでやけどしたら塩水にてぬぐい浸して当てるように、着ているものは全部白じゃないとだめだぞと。

しかし数日前にグラマンが

来ましたからね。白い物は危ないので全部草色に染めろつて言われて染めちゃつたんですよ。それを白いの着ろと。やけどしたら塩水で冷やせと大体見当つきますね。

もう駄目だろうなつて判つていましたが誰も口にしません。

危ないですからね。

それで十五日になつたわけですけども、どういう経緯でいろいろ隊に指令が来たか私などは知らないんです。何しろパートの副官ですから大事なことは頭の上を通り抜けて行つちやうんですから。

それで十五日に終戦の大詔つていろいろを士官達に聞かせるというので、庭に高い演壇を作りましてね。私の仕事と

いうのはその大詔なるものを中味知らないんですよ。どんなものか。それを大事に持つて行つて司令に渡すだけが仕事だつたんです。

八月十五日の正式な仕事はそれだけなんです。

### 切り合いの仲裁

で、そのあとちよつとやつかいなことがありましてね。

実は内緒ですけど、その頃万葉集を読んだんですよ。

仕事がないですから。土屋

先生が、「わかつてはわからなくても万葉集全部読め」つてのに、とびとびにしか読んでませんでしたからね。

とにかく、判つても判らなくても全部読もうと岩波の教科書版を毎日毎日読んでましたけどね。

そして大沢つて軍医大尉が来ましてね。この方は斎藤茂太さんと学校が一緒だつたつて、言っていました。

それが来て「副官大変ですよ。すぐ来て下さい」つて。

「何ですか」つて言うと「主計課に来て下さい。兵曹長が主計長を切ろうとしてゐるから止めてくれつて」つて言うんですよ。冗談じゃないつて思いましたね。切り合い等ご免ですから。

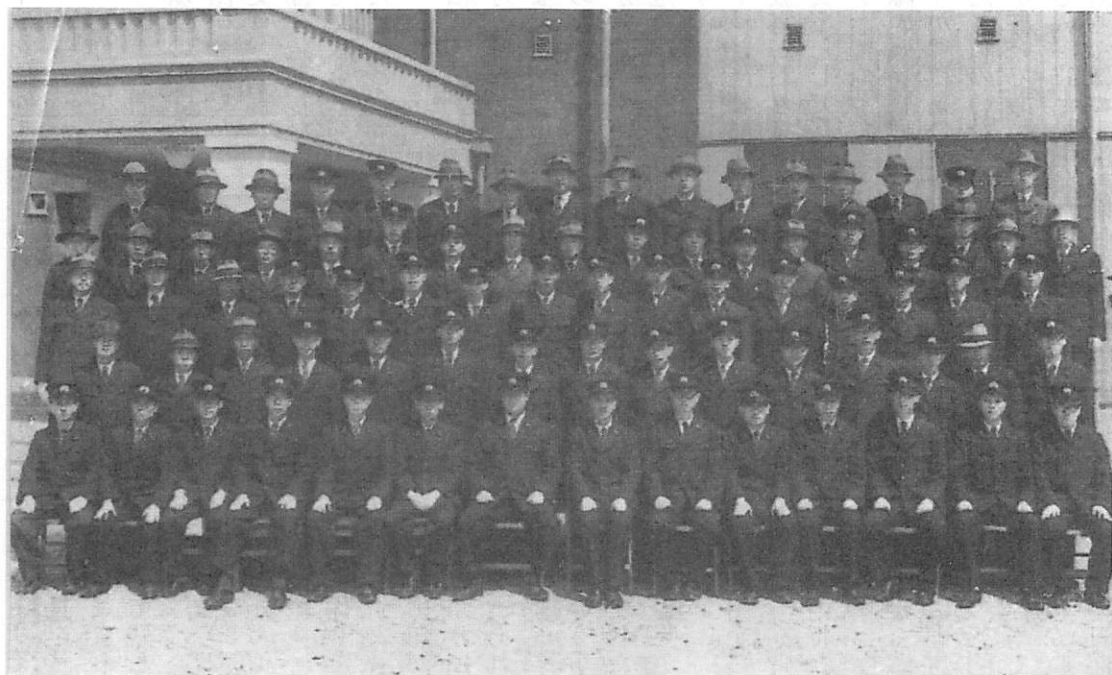
私は学生時代剣道やつたつて言つたつて、実戦など経験など無いですから。だけど副官だからしょうがない；と行つたら少佐の主計長が真っ青になつてゐるんですよ。

兵曹長は相当年を取つてまして、やつれた顔をしてました。実戦部隊から帰つて来たんでしようか。これはやられちゃうかなと思つた。止めなければ俺がやられちゃうと。弱つたなと思つたね。何しろ竹刀の稽古は知つてますけどね。

刀を振り回す人を相手にした事はないんですから。

いざと言う時には幼い頃からの記憶がいつぱんに出るつて言うけど本当ですね。赤ん坊の時から事がパーツと頭に出るんですよ。

ああいよいよ俺は切られてしまふと思つてね。で、しょうがないものですから兵曹長にやさしく「主計長はもうお判りになつています。ですからこのへんでいいでしょう」



最盛期に於ける三重空の文官

とね。なるべくゆつくり言っ  
たんですよ。夢中でしたね。  
そーしたらそれで済んだん  
です。妙なものですね。

それで終わったっていうん  
で部屋に帰ったら、目まいが  
しましてね。汗びっしょりで  
頭がグラグラしてポーツと、  
してました。

こうやって終戦の大詔を司  
令に渡したのと、切り合いの  
仲裁をやったのと、これが八  
月十五日の私なんです。

つまり予科練の構成とか、  
私の経歴を知りませんと、何  
故そういう場合に私が動かな  
くちやならなかったのか、頭  
に浮かべにくいと思えますけ  
ど。

#### 八月十五日以後

十五日以後、十五日のこと  
をお話したので、あとのこと  
を言いますと、むちゃくちゃ  
でしたね。

隊にはね、自給自足のため  
牛を七十頭ほど飼っておりま  
して、それからノーパンクの

自転車が二百台ほどあったん  
です。

私はその一台をもらって家  
に帰ろうと思った。倉敷から  
千葉県まで自転車でどうかつ  
て思うんですけど戦争に負け  
たんですから、それよりしょ  
うがないだろうとね。

そう思ったら牛も自転車  
も一晩で、全部なくなっちゃ  
いました。どこへ行っちゃつ  
たかわかんないんです。

それで、九月の末に依願退  
職ってことですけども、つま  
り退職願いですね。戦争に負  
けてもまだ海軍省はあつたん  
です。それで、退職して帰っ  
てきたわけですけど。

そのときに俳句を作ったん  
です。私などが住んでいたの  
は全部板張りのバラックみた  
いな教官室でしたけどね。そ  
この板壁にチョークで、俳句  
を書いたんです。

それがね、

「国破れて残る山河の日ざし  
かな」下手くそですけどね。

なぜ書いたかという、戦

争中歌を作っていないかったんです。

なぜ作っていないかったかと言うと、土浦にいます時にね横須賀の鎮守府、陸軍ならば師団司令部でしょうか。

文官、武官いずれにしても文書を發表したら、その發表した文献を二部ずつ鎮守府に納入せよと命令が出てたんです。

私はアララギに入っていて毎月一冊しか来ませんから二冊なんか納められないです。納めないでいけば処分されるのが分かっていたから、作るの危ないから作らなかつたんです。

ずっと後、Mさんという文官教官がおりまして、軍隊に一兵卒として召集され、戦争終わって帰ってきたんです。

隊の残務整理してたんでしようか。私達の宿舎を歩いていたら私のいた部屋の壁に俳句が書いてあったと。それをMさんメモしたんですね。

Mさんはね、加藤楸邨のお

弟子さんなんですよ。それで長野県の高校の校長を長くやって、やめる時まで在職中の訓示など皆書いて残しておいたんでしよう。

私などは校長になつても一切原稿無しだったから何も無いですけどね。

Mさんが文集を作ったのを送ってくれたんですね。その中を開いたら私の俳句があるんですよ。四十年ぶりに自分の忘れていた俳句。あれって思ってたね。

世の中に、こういう事があるんだなって思いました。戦争中の俳句と再会

それから、高野山から倉敷に転勤したあとで、高野山の司令つてのが南雲中将と同期だそうなんです。

で倉敷に行つてからお礼の挨拶状をだした時に俳句を中に書いたんですよ。五つ。

それがそのT大佐つて人の日記に残つていましてね。暫く前にT大佐の日記が出

てきたというので、見たら私の俳句が五つあるんですよ。世の中妙なことがございますね。とりとめのない話で、申し訳ございません。終り

本名 渡辺弘一郎

東京文理大卒業

戦中・予科練文官

戦後・昭和女子大教授

アララギの編集に携わる

読売歌壇選者

宮中歌会始め選者

二〇十七年三月十一日

百一歳にて逝去

渡辺先生は江戸っ子気質で威勢良く、普段の会話も弁舌誠に爽やかでした。編集・保坂

## 天国へのメッセージ 第四回

伯父 故坂田清一様へ

私の伯父、坂田清一は大正十二年七月十一日に六人兄妹の長男として生を受け、昭和十三年六月に乙種第九期飛行予科練習生に採用されました。

艦上爆撃機の偵察員として戦歴を重ねましたが、終戦間際の昭和二十年七月二十六日、沖縄方面に偵察飛行に発進後、未帰還となり戦死と認定されました。

行年二十二歳の若さでした。

伯父は学校から帰ると家業の野菜の種の行商を手伝い、弟や妹に優しく、勉学や体育も優秀で立派な兄さんだったと、私の亡き母が折に触れて語っていました。

祖国の安寧のため、勇躍奮闘し散華した伯父を誇りに思う一方で、青春の全てを戦争に捧げ、二十二歳の若さで国難に殉じた伯父を不憫にも思いません。

何か楽しい事はあったのでしょうか、思いを寄せる女性はいたのでしょうか。私たちが遺族は決して貴方の事を忘れません。どうぞ安らかに眠りください。

海軍飛曹長 故 坂田清一様  
甥 佐藤 剛(六十九歳)  
新潟県新発田市在住

心訓

福沢諭吉翁

- 一、世の中で一番楽しく立派なことは 一生涯を貫く仕事をまつということです
- 一、世の中で一番みじめなことは 人間として教養のないことです
- 一、世の中一番淋しいことはする仕事のないことです
- 一、世の中でみにくいことは他人の生活をうらやむことです
- 一、世の中で一番尊いことは人の為に奉仕し 決して恩にきせないことです
- 一、世の中で一番美しいことはすべての物に愛情をもつことです
- 一、世の中で一番悲しいことは「うそ」をつくことです

(公財)海原会寄付者芳名簿

(敬称略) (単位千円)

令和四年三月十日より

五 工藤 重穂(一般)福島

- 五 吉川 政次(乙23)滋賀
  - 五 園 厚(乙17)福岡
  - 五 今井 松子(非会員)茨城
  - 五 為平 浩一(一般)兵庫
  - 五 伊藤かをり(一般)神奈川
  - 五 岩澤 純造(乙20)神奈川
  - 一〇 鈴木 昭吾(乙21)神奈川
  - 一〇 小笠原荷役商事 埼玉
- 海原会へのご芳志  
誠に有難うございました。

訃報

海原会副会長太宰信明様(甲飛第十四期生)は、慰霊祭の翌日、令和四年五月三十日午後六時四十六分、肺炎のために都内病院に於いてご逝去されました。長年予科練慰霊祭の司会進行を担当していただきましたが、亡くなられる直前まで第五十五回目の慰霊祭の事を気にしておられたとの事です。謹んで太宰副会長の御冥福をお祈り申し上げます。

事務局日誌

三月

二日

武器学校OB会幹事会参加  
於 武器学校

酒井副理事長、平野・篠田理事が出席

二十二日

予科練平和記念館運営協議会  
於 予科練平和記念館

委員として平野理事が出席

二十三日

演奏指導の調整  
於 霞ヶ浦高等学校

横須賀音楽隊が行う演奏指導の細部調整のために、平野理事が学校長と面談

二十四日

慰霊演奏会調整  
於 自衛隊茨城地方協力本部

横須賀音楽隊が行う慰霊演奏会の調整のために平野理事が訪問

二十六日

特攻隊全戦没者慰霊祭

二十九日

慰霊演奏会阿見町との調整会議  
於 阿見町役場

阿見町生涯学習課、教育委員会担当者と平野理事が調整を行った。

四月

四日

慰霊演奏会調整  
於 茨城地本竜ヶ崎事務所

平野事務局長が、慰霊祭記念演奏会会場調整のため訪問

八日

阿見町教育課長表敬  
於 阿見町役場

教育課長交代に伴い、平野理事が表敬

十一日

茨城地本広報官来所  
於 事務局

茨城地本広報官が演奏会の調整のために来所した。

海原会会員の皆様へ

小さくてもあたたかい

# 一日葬 家族葬

お葬式のご依頼や  
「もしものとき」に  
備えた事前のご相談  
年中無休で承ります

相談  
見積 **無料**

お客様満足度  
**99%**※

自宅葬、一日葬、お別れ会のほか、  
ご希望に合わせた  
お葬式プランがご用意されています。

※当社施行客アンケート調べ

新型コロナウイルス感染拡大防止に万全を期しています。

## お墓

お墓のことなら何でもご相談ください。墓石工事は信頼の10年間の保証書付きです。

### 墓所工事

標準価格  
(10万円以上)の  
**10%割引**

サービス提供エリア:  
関東・関西・東海



「お墓のお引越しガイド  
& 事例集」

無料で資料を差し上げます。

## お葬式

葬儀一式をセット化した「葬儀式セットプラン」を各種ご用意。最適なプランをお選びいただけます。

### 葬儀

祭壇標準価格の

**20%割引**

※一部客場、一部商品を除く。  
新花で送る家族葬は  
優待料金  
サービス提供エリア: 関東



「お葬式の流れが  
わかる100項目」

無料で資料を差し上げます。

## お仏壇

仏壇店は首都圏に2店舗(国分寺・千葉)。伝統型仏壇や家具調仏壇、手元供養商品まで豊富な品揃えです。

### 仏壇

店頭価格の  
**25%割引**

※ただし、催事特価品と  
仏具小物、手元供養商品  
は対象外  
サービス提供エリア: 関東



「お仏壇カタログ」  
「特選 お位牌」

無料で資料を差し上げます。

お問い合わせは  
海原会事務局へ

# 029-886-5400

お問合せの際は、「予科練を見た」とお申し出ください。

**MAO**  
MEMORIAL ART OHNOYA



## メモリアルアートの大野屋

<http://www.ohnoya.co.jp>



「予科練」第471号7・8月号  
昭和53年7月26日第3種郵便物認可 (隔月奇数月1回1日発行) 編集人 菅野寛也 保坂俊雄  
令和4年7月1日発行 発行人 菅野寛也  
発行所 〒300-0301 茨城県稲敷郡阿見町青宿489番地1 海原会 (旗幟ビル3階) 郵便振替 0014019154332002 定価500円